



JRE関東

ひびき

JRE 関東地協 機関紙

発行責任者 秋山順一

編集責任者 佐藤定司

港区東新橋 2-8-28

## 情勢は私たちの行動で創造する！！

### 関東地協(横浜・東京地本)第5回定期大会を開催

「安全を守り、企業内労働組合主義を確立させる為、すべての組合員が今できることをやり切り一層の組織拡大を図り、民主化闘争を勝利しよう！」をスローガンとする関東地協第5回定期大会は7月17日、本部会議室において開催された。

冒頭、挨拶に立った秋山委員長は「自らの行動の後にしか“道”はできない」と今後の運動について、組合員の総がり運動を要請した。また、本部を代表して出席された菅野本部委員長は「組織拡大こそが今後の情勢を創り出す。仲間との決めあった“約束”について誠実に行動する」とした。

議論の中では①東海道新幹線殺傷事件について会社としての指導を明確にして欲しい②2月以降繰り返される鉄道妨害の蛮行を許せない。③営業職場の将来展望について将来像を指し示すべきではないか。

⑤職場における運動について今何をすれば仲間化できるのか悩んでいる⑥会社の経営状態の良いときだからこそ防災に予算をつけ備えるべきだ。⑦労働組合について一部の過激派の指導によってその存在までもが否定される状況になっている。現状を打破するための行動が必要だ。⑧人身事故発生時について早期復旧する為、エルダーのいるTSS等の契約を見直し教育訓練すべきだ⑨昨年からの事故について技術継承がその遠因とも言われている。イーストとして策定したイースト案について再度取り組み、会社に提案すべきだ。⑩職場の中でいかにイーストをアピールするか考えている。など参加者全員から発言がありました。



大会のまとめとして

- ・今会社から与えられている業務について誠実に取り組み答えを出していくことが大切だ。
- ・殺傷事故、鉄道妨害については本部が「申」を出している。この議論を見守り地方としても具体策について意見具申する。
- ・営業職場の将来像について会社に対して明確に打ち出すよう要請していく。
- ・会社の経営状態の良いとき必要な設備投資、人材への投資を先取りでやっていくことは大切だ。イーストとして会社に対して申入れ等で伝えていく。職場においてイーストの要求を他の社員に伝えて欲しい。
- ・技術継承についてイースト案見直し運動について着手するのは当然だ。本部への上申についても考えていく。
- ・すべてのイースト組合員が私たち自身を体現している。職場の中で責任ある言動、責任ある行動を要請する。みなさんを見ることでイーストへの見方が既定される。わからないからと言って逃げるのではなく、わからなければ仲間のネットワークで勉強し、理解してお返ししていこう。逃げていてはだめだ。

と総括した。

「安全を守り、企業内労働組合主義を確立させる為、すべての組合員が今できることをやり切る」とのスローガンの下、組合員一人ひとりが職責の重要性を認識し、日々の業務に誠実に取り組むとする大会宣言、更には運動方針、活動報告を採択し成功のうちに終了した。

前へ！！さらに前へ！！前に進むことでしか道はできない！！